

“鍛えて、ほめて、伸ばす！子どもの可能性”

～「鍛ほめ福岡メソッド」展開中！～



福岡教育事務所・社会教育室

公立高校入試問題(国語)を小学生風にアレンジ&子育てミニ講座第1回

～糟屋地区家庭教育支援チームかぶとむし～

平成30年6月23日(土)、糟屋地区家庭教育支援チームかぶとむし(中村隆氏、渡橋大助氏)による「公立高校入試問題(国語)を小学生風にアレンジ&子育てミニ講座第1回」がサンレイクかすやにて開催されました。参加者22名で、実技・演習形式で以下の内容を行いました。



- ① 最近の我が子の子育て等の振り返りと交流
- ② 公立入試問題分析と感想交流、小学生の間のできるアイデアを考える。
- ③ ミニ講座「大学入試が変わります」(講師 渡橋大助 氏)

実際に参加者全員で問題を解き、求められている力について共通理解したり、小学生のうちには何ができるかなどについて交流したりしました。家庭でできる工夫についてのアイデアを出し合っていました。子ども達にとって生きた学びにするための工夫に気付くことができました。

〈参加者の感想より〉

○福岡県の公立高校入試問題国語と格闘しました。国語は結構楽勝かなと思っていましたが、案外時間が足りなくて焦りながら、取り組みました。あと3年もすれば、我が子もこれに取り組むかもしれないけど、大丈夫かなあ。まずは、今日教えてもらった事で出来そうなことから、日々の生活の中で取り入れて行けるよう意識したいと思います。



○自己肯定感(解けなくても落ち込まない) 落ち着き(焦らずマイペースに最善を尽くす) 余裕(高校受験を全てとせず、他に自分の好きなことを持つ)が大切だと思いました。自己肯定感があったら、間違いを恐れずに答案を埋めることができ、作文も何かしら書けそうな気もします。受験生はかなりストレスを抱えることと思います。家庭において、個性をいかに受けとめるべきかが重要だと感じました。